

## 【西区】平成 28 年第 1 回区づくり推進横浜市議員会議 議事録

開催日時	平成 28 年 2 月 8 日 16 時 00 分 ～ 17 時 40 分
場 所	西区役所 4 階 4 A 会議室
出席者	<p>【座長】 上野盛郎議員</p> <p>【議員：2 名】 清水富雄議員、上野盛郎議員</p> <p>【西区：14 名】 大久保智子区長、成田禎副区長、中嶋俊明消防署長、佐藤眞理代福祉保健センター長、重内博美福祉保健センター担当部長、井上幸一土木事務所長、ほか関係職員</p> <p>【局説明員（医療局）：1 名】 木村洋再整備課担当課長</p>
議 題	<p>1 平成 28 年度 西区編成予算（案）について</p> <p>2 平成 28 年度 西区編成予算（案）主要事業説明</p> <p>3 その他</p>
発言の 要 旨	<p>【平成 28 年度 西区編成予算（案）について】</p> <p>清水議員：区では、個性ある区づくり推進費（以下「区づくり推進費」という。）とは別に局の区配事業がある。資料の中には「地域づくり大学校」のように区配事業が一部記載されているが、区配予算について聞きたい。</p> <p>日下総務課長：予算的には、区配事業は個人への給付事業や施設の運営に係る経費等のために各局の予算が区に配付されるものがほとんどであるが、区づくり推進費と合わせた形で執行できる予算もある。</p> <p>清水議員：西区の区づくり推進費は、区民まつりや掃部山（かもんやま）公園の虫の音を聞く会など区の特徴を活かした事業もあるが、6～7割が固定化されており、最初の趣旨とは異なり自由度が少なくなっている。区配事業も関連させて使えるのであれば、予算額を記載し区づくり推進費と合わせて議論すべきではないか。</p> <p>成田副区長：資料には区配事業全体を記載していないが、区づくり推進費と一体で実施する事業を抜粋して記載している。</p> <p>区配予算は、例えば生活保護費など18区全体では約1,497億円となっており、また現時点では区別の予算額が決まっていないので全部を網羅して記載するのは難しいが、区づくり推進費に関係があるものについては今後どうしていくか検討</p>

させてほしい。

**清水議員：**我々も党のほうで勉強会を開いて、区づくり推進費の予算を議論しているが、区配事業がこの時期はっきりしていないところを見込みで議論していかなければならないもどかしさがある。区配事業が、区づくり推進費のボリュームを広げたような使い方ができないのであれば、局の事業をやらされている感じがしてしまう。

**大久保区長：**区配事業の中でも、区の裁量で事業展開できる予算と、区の裁量が及ばない予算の両方があり、区の裁量にゆだねられている事業は区づくり推進費との兼ね合いもあり説明が必要だと思う。今後局と相談したい。

**清水議員：**区づくり推進費は平成6年から始まっているが、予算の7割が固定化され、新規事業は残りの3割の中からなくなってしまっている。区づくり推進費では、同じ事業は3年で見直しすると聞いたが、それに則って出てきているのか。

**大久保区長：**一つのルールとして、区づくり推進費は3年ごとに検証を行っている。区民まつりや虫の音を聞く会など定着した事業を3年で終了するとはいかないが、予算編成する時の考え方として、事業を固定化せずに事業効果や効率性などを踏まえて、廃止する、継続する、または事業内容や手法を見直すなど一つ一つ精査しながら進めている。

**清水議員：**1区1億円、18区18億円の予算が区長にゆだねられた部分はとても重いと思うので、固定化はなるべくなくして、新規事業にも取り組んでほしい。

**清水議員：**拡充事業のうち、資料に記載のないものを説明してほしい。

**内山高齢・障害支援課長：**「障害のある人も住みやすいまちづくり事業」では、27年度の事業内容を見直す中で新たな取り組みを企画している。例えばアルコールや薬物の依存症の問題も大きくなっているので、新たに啓発や講座の開催、災害時に医療的なケアが必要な在宅の障害者の方の個別の支援計画を考えている。予算額的には27年度よりも減っているが、新たな取組なので拡充としている。

**本多こども家庭支援課長：**「西区で子育て学び隊事業」については、育児に関する正しい知識の普及のために、区民に向けて例えば休日の両親教室、0歳児のお子さんの保護者の方の育児の講座や中学校のいのちの教室等を行っているが、28年度はそれに加えて、発達に特徴のある児童をもつ保護者を対象に、幼稚園就園や小学校就学の際に留意すべきことや、家庭に必要な準備についての知識を身につけていただくことを目的にこどもの発達支援講座を開催する。

早川地域振興課長：「ノー「スモーキング&パーキング」プロジェクト（放置自転車対策事業分）」では、新たに駐輪場設置モデル事業を実施する。横浜駅周辺の歩道に駐輪場を整備し、歩行者の通行支障などを解消する事業である。

**【平成 28 年度 西区編成予算（案）主要事業説明】**

上野議員：「にこやか しあわせ 暮らしのまちプランの推進」に記載のある「にこまちスタートアップ講座」と「地域づくり大学校」の27年度の振り返りと28年度のテーマについて聞きたい。

本間福祉保健課長：「にこまちスタートアップ講座」の対象としては、現在活動している方へ活動のヒントとなるよう外部講師を呼んで行う。モチベーションが上がるような講座を企画していきたい。

重内センター担当部長：講師の方については、いろいろな地域ですでに特徴的な取組を行っている方を招きたいと考えている。にこまちプランの中には、健康、障害、つながりづくりや子ども等のテーマがあるので、テーマごとに講師を呼んで講座を行う。併せていろいろな分野で活動しているみなさんの交流の場とすることで、分野をまたいだ新たな活動が西区の中で出てくることを期待している。

鈴木区政推進課長：地域づくり大学校は、27年度は21名の参加があった。20代から50代の方が過半数を超えており、特に20代の方が3名おり若い方も関心を持っていることが分かった。28年度はにこまちスタートアップ講座などとも連携しながら、27年度卒業生のアンケートや地域のつどいでの意見などを参考にしながら、テーマを設定していきたい。

上野議員：「地域づくり大学校」には地元の事業者でも参加できるのか。地域貢献したいと考えている企業や事業者もいる。地域に根付いた方たちはもともと人脈のネットワークを持っているので話が速く、違った目線もあるのでは。

鈴木区政振興課長：参加可能である。今でも参加されている。

清水議員：「地域づくり大学校」の講師やテーマは誰が決めるのか。

鈴木区政振興課長：講師やテーマは協働事業者の「にしとも広場」を運営している市民セクターよこはまと連携して決めている。

上野議員：「西区地域のつながりを育み強める補助金」の27年度実績は。

鈴木区政振興課長：27年度は8件で、約134万円執行した。1件の上限は20万円となっている。

清水議員：「スポーツ振興事業」の「スポーツ体験会」で元オリンピック選手を中学校2校に派遣するとあるが、他の学校は。

**早川地域振興課長**：27年度も2校派遣した。中学校は5校あり、小学校もあわせ順番に派遣する予定である。

**清水議員**：西区出身の有名なスポーツ選手は把握しているのか。

**早川地域振興課長**：オリンピック選手については、日本オリンピック委員会などで把握しており、市民局に協力してもらっている。国際級の大会で活躍された方にもスケジュール等が合えば、来ていただけるよう考えている。

**上野議員**：「食中毒・感染症予防対策事業」についてだが、今後、2019年ラグビーワールドカップ、2020年東京オリンピックと大きなイベントを抱えている中で、屋外の飲食について今後の考え方はどうなっているのか。

**佐藤生活衛生課長**：2020年のオリンピックに向けては、健康福祉局において食中毒や感染症対策等を検討していくと聞いている。特に西区はイベント等が多数開催される可能性があるので、局、警察とも連携しながら今後啓発等拡充していく。

**上野議員**：屋外の調理行為の指導は当たり前だが、事業者からみると条件が厳しいと思われる。しかし大きなイベントでは、屋外の出店がつきものなので、厳しいだけではなくサポートについても考えてほしい。

**清水議員**：野毛の青少年交流センターが中区に移転して、西区民の利用率が減少してしまうのでは。

**鈴木区政推進課長**：利用者にはこども青少年局がアンケートをとっているが、どの位減少するかはアンケート結果からは出ていない。現在の利用者に対し移転に関して周知し、今後も活用していただくよう案内していくと聞いている。

**大久保区長**：こども青少年局から「区外の利用も多い」と聞いている。青少年交流センターは、老松中学校の生徒など周辺の子どもの居場所の役割も果たしていたので、学校に丁寧に説明するよう局に依頼している。

#### 【その他・西区案件】

**清水議員**：地下鉄高島町駅の平沼側改札について何か情報はあるのか。

**成田副区長**：戸部地区整備促進連絡協議会で地元の方も入って話し合いを行っているが、その中でみなとみらい側の出口も要望が出ている。交通局は時期尚早と考えているようだ。

**上野議員**：自治会町内会の加入率が西区は18区の中でも低い。また、開発が進むと低くなるのが西区の特徴である。どのような対策を考えているのか。

**大久保区長**：かつては西区の加入率は高かったが、建て替え等で、ワン

ルームマンションや若い世帯向けのマンションが増えてきた中で、加入率が低くなってきている。

そこでマンションの開発情報が入ると、地域振興課が開発事業者のところに伺い、重要事項説明書等に自治会町内会についての記載を要請したり、近隣の自治会町内会と調整し、まず近隣自治会町内会に加入し、その後独立してもらうなど、さまざまな手段で転入者に加入を促すよう取り組んでいるが、なかなか成果が上がらないのが現状である。

引き続き既存の自治会町内会と協力して努力していく。

**清水議員：**マンションが増えていることが要因だが、西区だけではない。なにか新しい工夫や取組が必要ではないか。

**大久保区長：**難しい課題であるが、例えばみなとみらいのマンションでも、人が集まるまつりとかイベントを管理組合のコミュニティ部会なども参画して実施し、住民相互の交流を深めていこうとする動きもある。そういうことをきっかけにしながらコミュニティ形成を進める方法はないか検討していきたい。

**上野議員：**地域づくり大学校で自治会町内会加入率についてやってほしい。また、不動産仲介業者に集まってもらってお願いするのも一つの手ではないか。

**清水議員：**その他として、学校開放で機材を共同で置くスペースが学校敷地内に出来ないか、また、18歳参政権になり高校生だけではなく小学校の授業に取り入れている学校もあるので未来を担う子どもに向けて区として何かできないか、検討してほしい。

「リーサス」（地域経済分析システム）において国の方で動きがあり、経済分野に限らず様々な統計データを搭載すると聞いている。区役所で活用できないか検討してほしい。

#### 【その他・医療局案件（市民病院の再整備について）】

**清水議員：**新しい野球場は現行の規模・面積が入る敷地が確保されているのか。

**木村再整備担当課長：**新病院開院後に現病院を取り壊し、代替の野球場を整備する。現在の野球場程度の広さは確保できる。

**清水議員：**現病院の売店等は、いろいろな経過があったと聞いているが、新しい病院ではどうなるのか。

**木村再整備担当課長：**利便施設にコンビニ等を配置する計画であるが、具体的な事業者については今後の検討となる。

**清水議員：**今の87系統のバスは残るのか。

**木村再整備担当課長：**残る計画である。

**清水議員：**三ツ沢グランド入口のバス停はどうなるのか。

	木村再整備担当課長：病院敷地内のロータリーに移設をする計画である。
備 考	